



やぎた

議会だより

船越家族旅行村・桜の紅葉（昨年の様子）

No. 126
2009.11.1 発行



第38回町民体育祭の様子（青空がきれいだと気持ちイー！）

9 月
定例会

一般会計に2億7,047万円を追加 — 2P

どう使われたか（平成20年度決算） — 4P

町の考えを聞< — 9P

特集—地域医療を考える — 17P

飛び出せ青春（山田高校生徒会） — 20P

補正予算審議

一般会計に2億7,047万円を追加

国の景気・雇用対策事業を推進



第3回定例会の様子

9月定例会は、9月9日から16日まで8日間の会期で開かれました。一般質問（9ページ16ページに掲載）には8人が登壇し、医師確保問題や雇用対策、新型インフルエンザ対策など幅広く町政について質問。総額11.6億円を超える一般会計と特別会計の平成20年度決算認定案は決算特別委員会の集中審議の結果、全て認定されました。そのほか、山田町国民健康保険条例の一部を改正する条例や平成21年度一般会計補正予算など13件が提案され、審議の結果、すべて原案どおり可決し会期を閉じました。

一般会計に2億7,047万円を追加するなど21年度の補正予算8件が提案され、審議の結果、すべて原案どおり可決されました。

今回の一般会計の補正は、普通交付税の確定額や国の一次補正に伴う経済危機対策臨時交付金、前年度繰越金などを財源としたものが骨子で、主なものと質疑の概要は次のとおりです。

- ▽一般会計に2億7,047万円を追加するなど21年度の補正予算8件が提案され、審議の結果、すべて原案どおり可決されました。
- ▽老人福祉費（地域密着型サービス拠点等施設整備補助金など） 3165万円
- ▽子育て応援特別手当支給事業（子育て応援特別手当交付金など） 1651万円
- ▽水産振興費（さけ・ます増殖施設機器等整備事業補助金など） 764万円
- ▽教育振興費（小学校理科

ター等備品購入費など）

1995万円

- ▽教育振興費（豊間根中学校特別教室棟建築工事費など） 8640万円

教材備品購入費など）

1350万円

- ▽教育振興費（豊間根中学校特別教室棟建築工事費など） 8640万円

豊間根中学校の特別教室棟建築

問 豊間根中学校の特別教室棟の建築内容は、

教育委員会 武道場と技術室を併設した特別教室棟で、

議決議案 ダイジェスト

条例関係

- 山田町国民健康保険条例の一部を改正する条例
健康保険法施行令等の一部を改正する政令が平成21年5月22日に施行されたことに伴い、関係条例の整備を行いました。

予算関係

- 一般会計補正予算（第3号）
2億7,047万円を追加。総額70億1,878万円。
- 国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）
8,263万円を追加。総額25億2,723万円。
- 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
86万円を追加。総額1億5,359万円。
- 老人保健特別会計補正予算（第1号）
6万円を追加。総額1,157万円。
- 介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）
4,900万円を追加。総額14億7,877万円。
- 介護保険特別会計（サービス事業勘定）補正予算（第1号）
185万円を追加。総額465万円。
- 簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
417万円を追加。総額8,973万円。
- 公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
6,455万円を追加。総額4億6,726万円。
- 平成20年度決算
総額116億1,434万円に及ぶ一般会計と特別会計の決算が認定されました。

人事案件

- 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
平成21年9月26日に任期満了となる固定資産評価審査委員会の委員に、現職の鈴木正通さん(69)＝飯岡＝を選任することに同意しました。
- 教育委員の任命につき同意を求めることについて
平成21年10月18日に任期満了となる教育委員に現職の馬場善也さん(78)＝境田町＝を任命することに同意しました。
- 監査委員の選任につき同意を求めることについて
平成21年11月7日に任期満了となる監査委員に現職の鈴木ミキさん(64)＝石峠＝を選任することに同意しました。



鈴木正通さん



馬場善也さん



鈴木ミキさん

その他一般議案

- 平成20年度山田町財政健全化判断比率についての報告
地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第111号)第3条第1項の規定により報告を行いました。
- 平成20年度公営企業会計における資金不足比率についての報告
地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第111号)第22条第1項の規定により報告を行いました。
- 防災行政無線改修工事の請負契約の締結
・工事請負金額 5,618万円。
- 柳沢北浜地区土地区画整理事業細浦柳沢線新桃山橋(仮称)下部工工事の請負契約の締結
・工事請負金額 7,875万円。
- 公共下水道山田管渠布設工事の請負契約の締結
・工事請負金額(21-1工区) 6,998万円。
・工事請負金額(21-2工区) 6,668万円。

武道場が260平方メートル、技術室100平方メートルで、合計で360平方メートルとなる予定。
問 国の交付金などを財源に建築するようだが、政権交代による予算の凍結があった場合でも予定どおり実施するのか。
副町長 豊間根中学校特別教室棟の建築にかかわる財源は、文部科学省からの補助金約1300万円と公共投資臨時交付金約1163万円などを充当し、残る財源については、地方債を活用して対応したいと考えている。

町長 仮に政権交代による「交付金・補助金」の見直しがなされ、予定していた交付金などが凍結されれば、本年度の実施はできないものと考えている。そうなった場合は、計画を総合的に判断して、改めて検討することになる。
町民グラウンド野球場トイレ整備工事内容
問 町民グラウンド野球場トイレは、今の場所に整備する

のか。また、水洗化するのか。
生涯学習課 整備内容は、現在のトイレを男子トイレとしてリフォームし、その隣に同じぐらいの規模で女子トイレを整備したい。水洗化については、地形などの問題もあり、簡易水洗で整備する。
町中小商工業金融対策基金積立金増による融資合計は
問 町中小商工業金融対策基金積立金1000万円の

増により、融資枠はどれくらい増えるのか。
産業振興課 今回の積み立てで融資枠は1億円増え、3億4000万円となる。
割増付商品券を発行した成果は
問 割増付商品券発行事業を実施したが、この事業の成果を検証したのか。
総務課 この事業は、商業事業協同組合が主体となり実施したものである。結果としては、計画した売り上

げに至らなかったが、組合自らが町の活性化のために何とかしたいという思いで事業を実施したことが成果である。今後でもできる限り支援していきたい。
県立病院医師の負担軽減する対策が必要
問 県立病院医師の負担を軽減する対策が必要では。
町長 町としては、できるだけ診療時間内に受診できるように呼びかけをしたり、広報などで周知している。

決算特別委員会

どう使われたか 20年度決算

決算特別委員会は、9月14日から16日まで町中央コミュニティセンターで開かれました。特別委員長には、生駒利治委員を選出。3日間にわたり一般会計や国民健康保険特別会計など10会計の平成20年度決算を審議しました。ここではその審議の概要をお伝えします。

総括質疑



3日間に及んだ決算特別委員会

第8次総合発展計画 達成率と実施状況は

問 第8次総合発展計画の達成率と実施状況は。

企画財政課 20年度の達成率は、国の経済危機対策事業へ移行して繰り越した事業などもあり87・42%となっている。21年度には、それらを含めた事業の実施を予定しており、計画どおりとなる見込みである。

町民所得減の分析と 所得向上させる努力は

問 町民所得が減っている理由を分析しているか。また、所得向上のために、町

としてどのような努力をしているか。

副町長 世界的金融危機による経済の落ち込みが大きいと考える。町民所得向上対策は、総合的な産業振興策だと思っている。産業活性化推進協議会の意見・提言により、農林水産・商工業・畜産業の総合的な施策を進めることである。

朝ごはんを食べてこない 子どもたちへの対応は

問 教育長がよく口にして「早寝・早起き・朝ごはん」はいいことだ。朝ごはんを食べてこない子どももいるようだが、改善する必要があるのでは。

教育長 昨年のアンケートで、早寝は全国と同じ、早起きは全国、岩手県より良いが、朝ごはんは低く、200人中約20人が朝ごはんを食べてこないという結果であったことから、各学校長を通じて、朝ごはんを食べさせてほしいと各家庭にお願いしている。

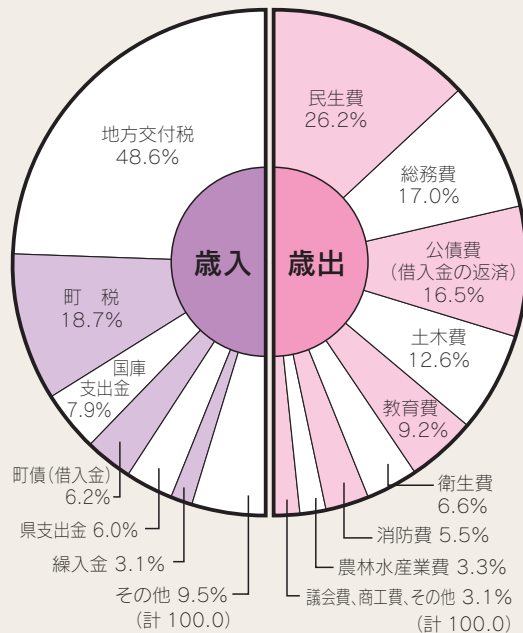
住宅用火災警報器の 町内・県内普及率は

問 住宅用火災警報器の町内・県内の普及率の状況は。

消防防災課 9月1日現在における町内設置状況は約23%、県内では約20%となっている。設置をしても届出がないケースもあるこ

平成20年度決算額

◆一般会計 歳入 67億6,427万円
歳出 66億5,260万円



◆特別会計など (上段=歳入、下段=歳出)

国民健康保険	27億5,620万円 26億3,721万円
後期高齢者医療	1億3,637万円 1億3,551万円
老人保健	1億8,752万円 1億8,746万円
介護保険	14億1,236万円 13億6,689万円
介護保険(サービス事業勘定)	328万円 143万円
簡易水道事業	8,488万円 8,070万円
漁業集落排水処理事業	1億4,763万円 1億4,699万円
公共下水道事業	4億636万円 4億555万円
水道事業	収入 4億4,482万円 支出 5億6,222万円

参考 平成20年度一般会計で使われた1世帯当たりの金額 (20年4月1日現在 7,222世帯)

民生費(福祉の向上のために使われる経費)	241,167円
総務費(一般事務費などに使われる経費)	157,092円
公債費(事業を行うため借りたお金の返済に充てる経費)	151,963円
土木費(道路の整備や区画整理事業に使われる経費)	116,459円
教育費(小中学校の管理や社会教育に使われる経費)	84,726円
衛生費(各種検診やごみ処理に使われる経費)	60,834円
農林水産業費(農林水産業の振興に使われる経費)	30,356円
その他(消防費、議会費、商工費など)	78,561円
合計(1世帯当たり)	921,158円

問 保育園民営化の公募をどのように進めるのか。また

保育園民営化をどう進めるのか

副町長 当面は町民の憩いの場、避難場所として活用したい。その後の利用計画については未定であり、今後検討していきたい。

旧図書館・公民館跡地 おぐら山の利用計画は

とから、今後指導していきたい。

問 今後、高齢化も進んでいくため福祉関係の仕事も産業の一部と考えてもいい

福祉関係の仕事 産業と考えるのは

副町長 23年度に轟木児童館の運営を健全育成型にする予定であり、そのときまでに、原点に返って検討したい。民営化については、提言の方向性も踏まえ検討したい。

た、民営化するために規制緩和などの工夫をして、旧町村単位で1、2カ所くらいにすれば、引き受けする法人の経営が採算ベースに乗るのではないかと。保健福祉課

副町長 職員の待遇、あいさつについては、町長就任

職員の待遇とあいさつ どう取り組んできたか

問 3年前から窓口の対応が悪い、あいさつがないといったってきたが、ようやく取り組み始めたのか。それともやっとなつて成果が現れてきたのか。

副町長 福祉を一つの産業としてとらえることについては同感である。今後、町としても、そのような方向に目を向けていきたい。

以来、第一に掲げて職員に徹底してきた。まだ足りない部分があるのは指摘のとおりであり、今後も職員一丸となつて取り組んでいきたい。



おぐら山は「町民の憩いの場・避難場所」として整備中です(役場5階から見た様子)

10月1日漁協合併 どう支援していく

問 10月1日に漁協が合併するが、その後、どのような支援をしていくのか。

副町長 漁協の設立準備委員会で作成している財務改善計画が具体化した後に、

県、上部団体との協議も踏まえて、目に見える形で支援したい。

新しい政権になる 交付税はどうなる

問 新しい政権になるが、交付税はどのようになる見込みか。

町長 新政権は、地方の自主性を拡大し、交付税も増やすといっているが、他の補助金・交付金が無くなることと全体の財源が減ることになる。これまでのように財源が来ればいいが、来ないのであれば、何らかの対策

を取らなければならない。

県の防災ヘリを ドクターヘリに

問 ヘリコプターを使うと宮古から盛岡まで約40分で搬送できる。県の防災ヘリをドクターヘリとして活用できないか。

総務課 県の防災ヘリは、災害用のため、ドクターヘリとしての装備はないが、やむを得ない場合は、医師・看護師が同乗して活用されており、昨年宮古から救急搬送された件数は16件であった。ドクターヘリを常時運用するには、緊急用ヘリポートが必要なこと、同乗する医師の確保、財源など諸問題もあるが、県では検討しているようだ。

全国瞬時警報システム 災害を瞬時に伝えられるか

問 全国瞬時警報システムに対応する整備をするようだが、災害時、瞬時に町民に伝えられるのか。

総務課 モデム（電話回線を使って情報のやり取りをする機材）は支給されたが、まだ防災無線には接続して

いない。
国の経済危機対策事業で実施する予定であり、内定通知がくれば、年度内には接続できる。

住民協働推進事業 審査基準見直しを

問 住民協働推進支援事業補助金の20年度実績は、審査基準が厳しいと思う

が、内容を見直しては。
総務課 20年度の実績は、予算額の66%であった。本年度で最終年度となるが、来年度以降の実施については、審査基準、事業内容などを含めて検討したい。

カキ殻埋め立てせず 販売できるように

問 カキ殻の処理は、埋め立てではなく、できるだけ販売するように頑張っているが、

産業振興課 織笠地区のカキ殻は、ほぼ販売できている。ほかの地区は、まだきれいな殻をつくれないう状況であるが、取り組みは行っている。町としても売り込みを行っているが、農家側も生産物の価格に転嫁でき

反対討論

■佐藤照彦 議員

県内最下位グループの町民所得を向上させるための意欲的な施策が表れていない。産業振興のために意欲的な取り組みを求め、財政扶助をともなつた子育て支援、一人暮らしの高齢者対策、障害者対策などで積極的な施策がなされず地域福祉が弱体化していること。

また、地域医療の維持に対する町独自の施策が足りないことから、社会福祉憲章条例を持つた町にふさわしい取り組みを望む。

賛成討論

■稲川勝憲 議員

第8次総合発展計画の3年度目に当たり、国の「三位一体改革」による地方財源配分の見直しなど厳しい財政事情の中で、諸施策の着実な推進が図られた。歳入歳出ともに、前年度比マイナスであったが実質収支額は、1億913万円を翌年度へ繰り越すことができた。

これらは、町長以下職員が丸となって健全な財政運営に努めながら適正な予算執行をした結果である。今後の町民生活の安定と向上を期待する。



三陸やまだ漁協合併契約締結式が行われた様子（7月14日：中央公民館）

ないこともあり、販売は難しい状況にある。

鮮度保持タンク事故防止にFRPタンク回転機導入を

問 魚市場の鮮度保持タンクでの事故を未然に防ぐため、FRPタンク回転機を導入すべきでは。

産業振興課 県の補助事業である。魚市場から要望があれば申請を検討したい。

鯨と海の科学館指定管理の移行

問 鯨と海の科学館は、収入300万円、支出1200万円、900万円の赤字である。指定管理者制度への移行を考えているようだが、期待することは。

生涯学習課 社会教育施設として入館者を増やす取り組みを期待したい。指定管理者制度への移行に向けて資料を作成中である。

産業活性化推進委員会中間報告生かされたか

問 産業活性化推進委員会は何回開催したか。また、中間報告は生かされたか。

企画財政課 19年8月に第1回目を開催し、20年度は4回、今年度は3回開いた。10月下旬に活性化策の提言集をまとめた。

中間報告で即対応できるものについては、21年度当初予算で事業化し、地域営漁計画実践事業補助金などで対応している。

ふるさと応援基金寄付金の活用方法

問 ふるさと応援基金の寄付金をどのように活用しているか。

企画財政課 昨年は、84万2千円の寄付があった。教育関係や産業振興など、寄付者の希望に沿った形で活用している。

未登記処理実績2件では少ない

問 未登記711件中、処理実績が2件というのは、少ないのでは。

企画財政課 未登記処理は、土地の所在の特定が困難なことや相続されていないことが多く、関係する大勢の皆さんから承諾が必要になるため時間がかかる。

福祉灯油支援事業今年も実施するか

問 灯油高騰対策緊急特別支援事業は、今年度も実施するの。また、昨年の実績は。

保健福祉課 実施については未定。昨年は、対象世帯の97%に当たる1203世帯に給付した。

新型インフルエンザ町民に情報の提供を

問 新型インフルエンザの情報、できるだけ町民に知らせてほしいが。

保健福祉課 広報などで予防法について周知している。万が一、熱やおう吐などの症状がでた場合は、受診する前に、まず医療機関へ電話し、医療機関の指示に従って行動してほしい。

母子家庭入学奨励金父子も対象にしては

問 母子家庭児童生徒入学奨励金については、父子家庭も対象にしては。

町長 現在、対象となっていないが、前向きに検討したい。

歯を大切にすることを継続して実施すべき

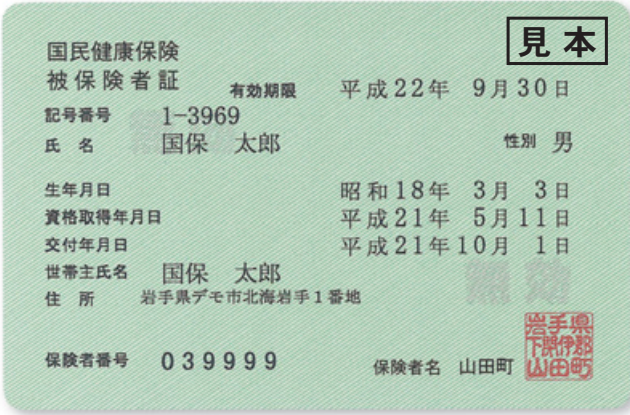
問 20年度は、国のモデル事業で、子どもの健康を守る事業を実施し、歯の大切さを伝えた。町として継続実施すべきでは。

教育長 本町の児童生徒には虫歯が多い。歯を丈夫にしてご飯を食べることが健康につながることから、本年度も年2回の検診を実施する。このことについては、他市町村に例の少ない配慮である。



指定管理者制度への移行が待たれる「鯨と海の科学館」

▽新しい保険証《実物大》



—— 注意していただきたいこと ——

- 医療機関で受診する際は、必ず受診する本人の保険証を提示してください。貸し借りは厳禁です。
- コピーしたものや有効期限が切れたものは使用できません。
- 記載内容を書き換えると無効になります。

特別会計

国民健康保険証が悪用される心配は

問 国民健康保険証が小さくなったことで、無くしたり詐欺などに悪用される心配はないか。

住民生活課 収納ケースも一緒に送付する予定である。

保険証には、不正に使用すると刑法などで罰せられると書いてあるが、悪用しないよう広報で周知したい。

訪問診療は大変な負担 開業の先生から協力を

問 県立病院の先生が、年間1000件の訪問診療をしているが、大変な負担である。開業の先生方にも協力してもらえないか。

保健福祉課 6月は64件の

訪問診療をしている。寝たきりの人がほとんどで、県立病院にかかっている人である。開業医の先生方に対する依頼は、今後検討して対応したい。

新政権の公約に どう対応するか

問 新政権は、後期高齢者医療制度を廃止すると公約しているが、町はどのように対応するか。

副町長 3党合意がなされており、民主党マニフェストにもその通り書かれている。医療制度については、

万円ずつ減っている。今後経費節減に努めたい。将来的には、管をつなげる必要があると思うが、財源と照らし合わせながら対応したい。

ノロウイルス対策事業 効果を期待できるか

問 処理場汚染対策の一つとして、大浦の処理場でノロウイルス対策事業を実施するようだが、効果があれば、大沢の処理場でも実施するか。

地域整備課 12月から1月に

水道事業整備費増 料金改定見通しは

問 水道の給水人口も減り、今後、施設整備にかかわる負担も増える。料金改定の長期的見通しは。

水道事業所 毎年200万円から300万円ずつ収益

は減ってきている。当面は現行の料金でいきたいと思うが、今後の事業計画を見ながら検討したい。

反対討論

国民健康保険特別会計

■佐藤照彦 議員

以下の理由で反対する。
 国保運営の危機は、政府が予算を減らし続けてきたことが原因である。今回の政権交代を契機にして、以前のように40%を超える国庫負担に増やすよう求める。保険税を払えない人が増え、保険証を取り上げられたり、資格証明書が発行されるまでになった。
 国の負担で保険税を引き下げ、町民の負担を軽減するよう求める。

反対討論

後期高齢者医療特別会計
 ■佐藤照彦 議員

以下の理由で反対する。
 20年度から導入された後期高齢者医療制度は世界に例をみない制度であり、75歳以上の高齢者を医療差別するもので容認することはできない。
 本日(9月16日)発足した民主党中心の政権は、この制度を廃止し新しい制度を実施する考えである。
 高齢者や国民が安心して医療制度となるよう求めていきたい。



佐々木良一郎議員

道路行政

縁石除去して駐車スペースに

駐車場の整備は別に考えるべき

設置したものであり、現状での活用にご理解をお願い

したい。
質問 縁石を取り除けば、火葬、葬式るとき、何時間か車を駐車するスペースが確保できるのでは。
柏谷地域整備課長 道路を駐車場とする考えはない。駐車場の整備については、別に考えるべきである。

質問 町道織笠外山線の山田高校から礼堂までを拡幅できないか。もし困難であれば、除雪時や通行時の利便性向上のため、龍泉寺から一里塚までの縁石を取り除いては。
沼崎町長 町道織笠外山線の整備については、県代行事業により国道45号から高

校入り口までは、平成17年に完成した。
 高校から礼堂までの区間についても拡幅の必要性は十分認識しているが、現下の財政状況では用地買収も難しく、早期の実施は厳しい状況にある。また、縁石を取り除くことについては、歩行者の安全確保のために



安全のため歩道を歩きましょう（織笠：礼堂地区）

議員8人が一般質問

林業振興

森林セラピーロード整備を林間歩道で同様の効果

質問 町有林が約800町歩、立木推定量約24万立方メートルがあると聞くが、森林セラピーロードを整備せよ。
沼崎町長 セラピーロードは、森林浴で得られるリラクゼーション効果や健康づくりに役立つため、森林内に散策路を設定するというもので、整備された森林環境と検証に基づく「生理・心理的効果」が認められる場合に認定を受けられる。

本町の場合は、昭和52年に森林における健全な屋外レクリエーションを通じ、自然に親しみながら森林愛護の知識と、生産の場と調和

した安らぎを与える場所として、船越四十八坂地区に森林総合利用施設を整備し、森林内を散策できる林間歩道を設置している。認定は受けていないが、同様の効果は得られるものと考えられる。
質問 学校林を所有する町立学校は何校あり、どのように利用されているか。
沼崎町長 自然体験の学習の場として設置している学校林は、山田南小の「ふれあいの森」の1カ所、分収により収益を目的としている学校林は、山田中、豊間根小・中、荒川小、船越小、織笠小である。



「山田町斎場」への案内看板の設置が待たれます（織笠：細浦地区）



稲川勝憲議員

案内標示

「山田町斎場」の案内板を

不便をかけないように設置

質問 町外から火葬に参列する人たちが、山田町斎場に行くのに「進入路がどこか分かりにくい」という話が出されている。

これらを解消するため、国道45号と町道織笠外山線が接する細浦地区に、例えば、矢印入りの「山田町斎

場」の案内板を設置すべきと思うが、そのような考えはないか。

沼崎町長 国道45号からの進入路については、特に案内板の表示がなく、町外からの利用者が分かりにくいということも考えられる。このことから、実情を踏

まえ、設置費用や設置場所などについて関係機関と協

議しながら検討を行い、利用者の人たちに不便をかけるないように設置していく。
質問 担当課長は、現地を確認したことがあるか。
千代川住民生活課長 現地は確認している。町内の葬儀会社2社に出向き状況も調査している。

機構改革 小回りのきいた課に改めては 組織再編成について検討中

質問 現在の行政機構は、16年4月に課の統廃合により係制が廃止され、代わってチーム制が導入となり、町長部局においては、8課が設置されている。

一部の課では、統廃合により業務の担当分野が広くなり、必ずしも行政の効率化が図られていないのではないかと感じられる。

本年は、機構改革から5年目となり、もう少し小回りのきいた課に改める時期でないかと思う。

今後、事務改善研究委員会などでこれらを検証し、

来年4月に向けて機構の見直しを図るべきと思うが見解を示せ。

沼崎町長 副町長を委員長に、課長補佐を委員として「事務改善研究委員会」を設置している。職員定員適正化計画を基に、職員の効率的活用を図るために制度化された課の統廃合、係制度の廃止・複数の担当で構成するチーム制、主幹制の導入、代決専決権の拡大などについて検証している。次期組織機構の再編成と併せて、来年4月の見直しについても検討中である。

町の考えを聞く



佐藤忠暉議員

医師確保

内科常勤医師の配属はいつ

県内勤務医師不足で配属に至らない

質問 山田病院に内科常勤医師がいつ配属されるかと

21年4月以降、町を歩いて何人と同じような話を交わ

したことが。主な内容は、

①内科がなくなった。医者

がいないと困る。いつ来

るか見通しはあるのか。

②新型インフルエンザが流

行している。今後ますます

広がる勢いだ。そんな

中、内科医がいないと心

配だ。大丈夫か。

③内科医がいなくなるのは

以前から分かっていただけ

らうに。分かっていて町

長や町議会議員は何をし

ていたか。

などであったが、町長はど

う受け止めるか。

などであったが、町長はど

う受け止めるか。

沼崎町長 県立山田病院に

内科常勤医師の配属を要望

する町民の声は、切実な叫

びとして真摯に受け止めて

いる。これまでも機会ある

ごとに経過を説明してきた

が、内科医師の転出情報を

入手して、すぐに県医療局

および岩手医大に出向き医

師派遣をお願いしている。

しかし、県内の勤務医師

の絶対数不足により山田病

院の内科常勤医師の配属に

至らないのが実情である。

保健福祉

保健福祉

新型インフルエンザ対策

受診方法や感染予防のチラシ配布

質問 厚生労働省は「新型

インフルエンザの本格的流

行が始まった」というが、

万が一の場合、本町のワク

チンの量が間に合うか危惧

される。

新型インフルエンザの感染拡大防止のためのチラシが各家

庭に配布されていますので、感染予防に努めましょう

議員8人が一般質問

2009年 6月 山田町 保存版

新型インフルエンザに備えましょう

新型インフルエンザの感染拡大防止のための対策を進めています。皆さんの暮らしにも影響が出ることも想定されますが、いざというときに、正しい知識を持ち、落ち着いて感染予防に努めましょう。

新型インフルエンザの症状
通常のインフルエンザと同様に、突如の発熱、ほてい、のどの痛み、全身痛、頭痛、悪寒、だるいなどの症状がみられます。発熱が疑われる場合は、職場や学校には行き方に他の人との接触を避けましょう。

予防方法

- ・マスクを着用しましょう。通常のサージカルマスク（不織布マスク）を毎日取り替えましょう。
- ・ごまめに手洗い。うがいもしましょう。湯洗石鹸を使い、念入りに洗いましょう。アルコール性の消毒薬を使うとウイルスは死滅します。
- ・セキやクシャミをするときは口や鼻をティッシュで覆いましょう。
- ・人ごみへの外出を避けましょう。人と人が接触することで感染が拡大します。
- ・使用したティッシュはビニール袋に入れて捨てましょう。

気になる症状がある場合は
気になる症状がある場合は、まず下記の発熱相談センターに電話でご相談ください。状況によっては医療機関などの紹介があります。

○岩手県庁 保健福祉課 : 24時間対応	電話 019-629-5466
	電話 019-629-5472
○岩手県宮古保健所	: 9:00~17:30 電話 64-2218
○山田町役場 保健福祉課	: 9:00~17:30(土日祝祭日を除く)
	電話 82-3111 内線160, 165, 166

なっているか。

沼崎町長 9月1日現在、

本町に感染者が出たという

情報はない。ワクチンにつ

いては、全国で5300万人

人が必要とのことである

が、国内で確保できるのは

1300万人から1700万人

分、不足分は輸入で確保

するようである。ワクチ

ン接種については、今後、

いことを願うばかりだ。

そこで、本町における新

型インフルエンザの状況と

ワクチン接種対応量は。

また、県立山田病院に内

科医がいないことで、患者

新型インフルエンザの感染拡大防止のためのチラシが各家

庭に配布されていますので、感染予防に努めましょう

また、県立山田病院に内

科医がいないことで、患者

および病院・行政に混乱す

ることも予想されるが、現

在の安全対策はどのように

なっているか。

沼崎町長 9月1日現在、

本町に感染者が出たという

情報はない。ワクチンにつ

いては、全国で5300万人

人が必要とのことである

が、国内で確保できるのは

1300万人から1700万人

分、不足分は輸入で確保

するようである。ワクチ

ン接種については、今後、



豊間根信議員

山田病院

医師常駐の対策実施は

先進事例参考に独自策を行う

質問 山田病院内科医常駐不在になり、町民の不安は増すばかりである。新型インフルエンザの猛威も現実逼迫ってきている。その後の具体的対応や進展、成果および今後の対策は。

沼崎町長 本年7月に、議会視察へ職員を同行させ情報収集に努め、8月には、

知事に対する統一要望の中で、医師配置と診療体制の充実をお願いしたが、県内医師の絶対的不足により厳しい状況は変わらない。今後、従来の活動に加え、遠野市の先進事例を参考に町独自策として、情報発信や訪問説明、釣り舟、宿泊などの費用・旅費支給を行う。



8月20日に宮古地方振興局で知事に対する統一要望が行われました

町の考えを聞く

質問 8月の知事への統一要望において、医師確保は政権が代われればとの話があったと新聞に載っていたが。

沼崎町長 一部を取り上げてということではなく、県政とのつながりを考えていく。**質問** 他市町村でも注目している。良い意味でのきつかけとして、前向きな対応ができないか。

経済動向 町内の雇用・失業状況は 誘致企業の雇用調整はない

質問 国の景気対策により一部回復の兆しがみられるが、予断を許さない状況にある。町内製造業の動向と町内の雇用・失業状況はどうか。また、今までの雇用対策と今後の対応策は。

つきもあり、景気回復には時間がかかる見通しである。町内誘致企業では4月以降の雇用調整はない。

沼崎町長 昨年度は、世界金融危機による大不況で、コネクターなどの電子部品産業を中心に受注が激減し、雇用調整を行う企業もあつた。しかし、本年4月以降、在庫調整も進み受注は向上しているが、企業間のばら

質問 各企業を訪問し、受注・財務状況などの情報収集に努め、企業のニーズを捉えているか。

宇澤産業振興課長 融資枠の拡大要望があり、町制度融資限度額をさらに1億円増額し、町内業者の経営安定を図り、国・県の雇用対策と経済対策に呼応する事業を積極的に推進する。

つきもあり、景気回復には時間がかかる見通しである。町内誘致企業では4月以降の雇用調整はない。



山崎泰昌議員

景気対策

ふるさと雇用再生特別交付金の成果

5件の事業で10人の雇用を創出

質問 完全失業率が過去最悪の水準に達するようだと、景気回復や雇用対策について、次の3点を質問する。

①世界同時不況後に、町の失業率と町税の収入はどのように推移したか。もしくは、どのような影響を予想するか。

②国は、即効性の経済効果を期待し、ふるさと雇用再生特別交付金事業を行ってきたが、その成果は見えているか。

③県は観光立県を目指すようだが、本町も観光の目玉となる施設やクリーンエネルギーを創出する施設をつくり、町独自の雇

用を生み出しては。

沼崎町長

①失業率の調査は、国・県単位で行っており、町単位では把握していない。町税については、失業により納付困難を訴える声もあり、町税収入のマイナス要因として、影響を与えると考えられる。

②2427万円が配分されており、5件の事業で10人の雇用を創出した。

③環境にやさしい自然界の資源を活用する方法などの検討を進めている。その中で、本町の産業に結びつき新たな雇用を生み出す項目を検討する。

保健福祉

新型インフルエンザ対策行動計画は9月1日付けで作成、対策本部を設置

質問

6月の定例会で、新型インフルエンザ対策について質問したが、より大きな事案となってきた。ワクチンが足りず、優先順位をつけて接種するという異常な状態である。前回

「本町の県立病院に内科医がいないのだから、県の統一的な計画とは違いがでると考えるが、町独自の計画を立てるのか」という質問に対し「しばらく時間をもらいたい」との回答だった

新型インフルエンザ対策行動計画は

ので、次の3点を質問する。
①行動計画はできたか。
②宮古市で策定してある新型インフルエンザ対策マニュアルを調べたか。
③県立病院に内科医のいる宮古市との計画の違いは、

沼崎町長

①9月1日付けで作成し、同日、山田町新型インフルエンザ対策本部を設置した。

②宮古市にある対策マニュアルを調べ参考にした。

③宮古市の行動計画と違いは特にない。

議員8人が一般質問



9月1日付けで山田町新型インフルエンザ対策本部が設置されました(役場4階総務課内)

(単位：人)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
中央	104	110	103	100	104
大船渡	40	38	31	29	35
釜石	20	24	22	19	20
花巻厚生	18	19	20	19	21
宮古	43	40	38	34	33
胆沢	49	52	44	43	40
磐井	36	39	41	40	39
遠野	11	12	11	9	10
高田	4	6	5	4	5
久慈	42	38	37	34	33
江刺	10	9	9	8	8
千厩	12	12	8	8	8
北上	28	25	28	29	33
二戸	27	28	28	26	30
一戸	14	15	14	12	11
大槌	5	4	4	4	4
山田	3	3	3	3	3
沼宮内	4	4	4	3	3
軽米	5	5	5	5	5
大東	6	5	4	4	4
花泉	3	2	2	1	1
東和	5	4	4	4	3
大迫	3	3	3	2	3
住田	3	3	3	3	2
九戸	4	2	2	1	1
紫波	5	4	3	3	2
南光	14	15	13	13	13
合計	518	521	489	460	474

過去5年間の常勤医師数の推移状況(3月31日基準)(資料提供：岩手県医療局)



阿部幸一議員

山田病院

内科医師確保の見通し

派遣できない厳しい状況

質問 県立山田病院内科医師確保の見通しはどうか。

医師がなかなか来ない理由があると思うが、今の体制で果たして良いのか。体制を変えなければ、いくら町で医師確保にかかわる補正予算を計上しても医師は来ないのでは。

沼崎町長 以前は、新人医師の多くが母校の大学の医

局に入り、付属病院で研修していた。

ところが、16年度から始まった医師臨床研修制度により、研修先を自由に選べるようになったため、症例数の多い都市部の病院に集中し、地方医大の医局員の人数が大幅に減るようになった。その結果、医大では大学病院の機能を維持す

るだけで精一杯となり、ほかの病院に派遣できなくなっている。

また、超過勤務が多い、当直が多いなどの労働環境の悪化で、退職する勤務医が多くなっている現状もあり、そのことが、県内勤務医の絶対数が不足し、岩手医大でも県医療局でも、山田病院に医師を派遣できないという厳しい状況があるものだと考えている。

総務行政 8時15分までに出勤する指導を機会あるごとに話している

質問 町職員の朝の出勤について、8時15分頃までに役場に入るよう指導すべきでは。

沼崎町長 役場の執務時間は、規則により休日を除き午前8時30分から午後5時30分までとなっている。

職員は、8時30分から執務できる体制がとれるよう出勤することが求められるっており、その励行については機会あるごとに職員に話している。また、週のはじめには、各課ごとにミーティ

ングやあいさつ運動の声だしを行うなど、執務規則や接遇向上についても工夫をしながら行っている。

質問 朝遅い職員を見てみると家が近い場合が多い。朝早い職員は仕事もできるが、朝遅い職員は仕事もできないと思うが。

佐々木総務課長 8時30分から執務できる体制をとることが基本である。執務規律を正す入り口として、朝のあいさつ運動などにも取り組んでいる。

町の考えを聞く



三ヶ尻隆雄議員

畜産振興

肥育頭数の推移は

8月末現在786頭まで回復

質問 堆肥センターは当初からエコファーム山田を指定管理者として指定しているが、その運営状況は。また、今後の肥育頭数の推移と肥育形態は。

沼崎町長 運営状況は、16年、17年は損失計上しているが、18年には利益を計上、19年には飼育頭数の減に伴い、損失を計上した。20年には、原料搬入不足にもかかわらず、製品の高付加価値化と大幅なコスト削減により利益を計上した。21年へ繰り越す未処理損失金は273万円となっている。肥育頭数の推移については、毎年2月1日に調査し

ており、16年は肥育農家数13戸1696頭であったものが、21年には8戸334頭まで落ち込んだ。しかしながら、本年3月から国内最大の肉用牛生産会社の黒毛和牛預託事業を導入し、全農系統のF1（交雑種）事業も開始され、8月末現在786頭まで回復し、来月にも150頭前後が新たに導入される予定である。肥育形態については、預託元から子牛が導入され、出荷までの間肥育することになる。料金については、契約に定められた内容で農家に支払われる預託方式をとっている。

旧山田病院

譲渡交渉の経過と内容 不動産鑑定評価を持ち寄り協議中

質問 07年秋ごろ、旧山田病院跡地の譲渡交渉については、県医療局との協議が最終段階に入っているとの説明があった。その後、医師確保問題などで協議が立ち消えになっている感があ

るが、現在の交渉経過と内容はどのようなになっているか。また、譲渡後の利活用について検討したか。

沼崎町長 県医療局とは「土地は有償譲渡、建物は無償譲渡とし、建物の再利用および解体は町の負担で行う」ことで合意し、土地の譲渡価格については、双方が不動産鑑定評価を持ち寄り協議を進めているところである。現在の状況は、土地の譲渡価格と建物解体費、設備品の撤去費、合同公舎の取り扱いなどについて、さらに協議を進めているところである。取得後の利活用については協議が整いしだい検討していきたい。

議員8人が一般質問



旧山田病院跡地の早期利活用が期待されます



佐藤照彦 議員

保健福祉

貧困減らす目標の策定

具体的な計画は困難

質問 保健福祉行政を問う。

① 本町の貧困の実態を把握しているか。「生活保護の捕捉率」(生活保護基準以下で暮らす人たちのうち、どれだけ保護を受けているか)の調査をしたことがあるか。もしなければ調査を行い、貧困を減らす具体的な目標や計画を策定すべきでは。

② 「生活に困窮する国民健康保険の被保険者に対する対応について」という厚生労働省の通知が発せられた。この通知は、一部負担金減免などの活用を訴えていることから、

これらの活用を広げるべきでは。

沼崎町長

① 生活保護の捕捉率調査をしたことがないので、貧困の実態は把握していない。貧困にかかわる実態調査の実施や貧困を減らす具体的な計画、目標の策定は困難である。

② 被保険者が保健医療機関などで支払う一部負担金の減免については、現在、基準を設けていない。

今後、減免要綱制定に向けて、国のモデル事業などの動向を見極めていきたい。

地域医療

「地域住民の理解と協力」必要

山田病院と地域医療を守る会と連携

質問 山田病院と地域医療を守ることは、当面する町政の最大課題である。

「医師確保」「地域住民の理解と協力」「行政の新たな対応」をつくり上げなければならぬ。町の対策は、

「医師確保」「地域住民の理解と協力」「行政の新たな対応」をつくり上げなければならぬ。町の対策は、

町の考えを聞く



地域医療講演会の様子
(9月4日：中央公民館小ホール)

沼崎町長 「医師の確保」については、関係機関への要望を継続するとともに、県立山田病院、議会および町民と連携して、医師確保などを研究し、実施していきたい。

「地域住民の理解と協力」については、内科医師が不在なこと、現状では医師の確保が難しいことなどについて、山田病院と地域医療を守る会と連携して、地域医療講演会を開催したり、地域に向いて説明するなど、理解と協力を呼びかけたい。

「行政の新たな対応」については、インターネットの活用や町からの訪問説明、現地訪問医師への旅費の支給などを制度化する予定である。

地域医療を考える



遠野市健康福祉部市民医療整備室で行われた研修の様子

■先進地視察研修

遠野市で医師確保対策について学ぶ

本町の医療機関の核となる県立山田病院は、4月から内科医師が不在となり、医師不足が深刻な問題となつていますが、医師の絶対数が不足する中、医師確保は非常に厳しい状況にあります。そこで、議会は7月8日に遠野市を訪ね、少子高齢化、地理的ハンデをアイデアとマンパワーで乗り越えた遠野市の取り組みについて学んできましたので、その概要についてお伝えします。次ページには、先進地視察研修を終えた感想や本町地域医療にどう取り組むかについて、議員から報告がありましたのでご紹介します。

遠野市は、県立遠野病院を中心に開業医院12施設と国保直営診療所が地域医療を担っています。その中でも、県立遠野病院は近隣市町村も含めた広域基幹病院として、市民の生活に欠かすことのできない重要な役割を担っています。

市は、慢性的な医師不足が常勤医師の過酷な労働を招き、医師の病院離れを誘発するという厳しい医療環境の現実を重く受け止め、医師確保対策、開業医支援、県立病院との病診連携体制の構築などを目的とする「市民医療整備室」を平成19年に設置しました。

整備室は、県立遠野病院の医師確保を最優先課題とし、医師の生活環境整備、学会などへの参加支援、医師家族の生活相談などきめ細やかな支援に努め、病院と協力して全国規模で情報発信・PRを行っている。

いうことでした。

また、医療に関する市民教育の一環として、市医師会の指導・協力をいただき家庭内で対処する治療処置の仕方や夜間の救急診療マナーなどの意識啓発を進め、医師の負担軽減を図りながら、診療を受ける市民との相互理解と信頼関係を育み、地域密着型の医療環境整備を進めています。

この春、県立遠野病院は3人の医師が新たに着任し、県内最下位の79・6%だった医師充足率が113%に上昇するなど、着実に医療環境は変わりつつあるという事です。

地域医療を維持するためには、病院と住民、行政の関係が正三角形になるのが理想の形であり、それぞれの視点で医療を見つめるからこそ、地域に合ったいい環境が生まれるということでした。

先進地視察研修を終えて 地域医療にどう取り組む

豊間根 信 議員

全国的医師不足の中、町においても県立病院の内科医常駐不在という状態が続き、新型インフルエンザへの脅威が現実となり、さらに不安は増すばかりである。議会においてもあらゆる手段をもって対策を講じなければと訴えてきた。町執行部も医療局・医大などに陳情してきましたが、非常に厳しい状況であります。

遠野市は、斬新な施策と行動力を持って医師対策先進地として素晴らしい実績があり、常識だと思っていた今までの陳情などの手段では解決は難しいというこ

とを痛感させられた。

これからの地域医療は病院と行政、住民がそれぞれの立場から地域医療を守っていく決意を、そして首長の強い決断が求められる。今、出来ることを一歩一歩解決し、一日でも早く安心できる体制づくりに取り組んでいかなければならぬと思います新たに視察研修であった。

稲川 勝 議員

遠野市では、平成19年1月10日「市民医療整備室」を設置し、19年4月1日から医師確保対策と医療環境整備に着手し、これまで5人の医師を招へいた。

医師の確保は、大学の医局に頼らない種々なところの出身の医師が遠野市に長く住んでもらうための手立てを察知して対応してきた。

県立病院であっても市民が利用する病院であるという考えに立って医師と市民の関係も良くなっている。地域医療は、病院と行政、市民が地域医療を守る姿勢である。

「医師確保は、首長の判断と本気度につきる」との菊池室長の講話が短時間であったが大変心を打つ研修であった。

本町でも遠野市に学び医師が山田町に一日も早く着任するような「環境づくり」

の対策を講じなければ医師の確保は難しいと感じたところである。

黒沢 一成 議員

医師確保の先進地である遠野市を視察し以下二点を強く感じた。

第一に首長が本気になつて予算も付けなければダメということ。遠野市は年間予算3500万円ほど用意して実質1000万円強使っているとのこと。

病院の規模・役割の違いはあるが、現在勤めている医師の希望なども聞いて、山田町の県立病院に勤めることの良さをアピールできるオプシオンを具体的な形

で用意し、ホームページなども利用し表面に出すことが必要。

第二に、少ない医師の負担を軽減するため町民が協力することが大切であり、町民にそのことを周知する必要が有ること。

遠野市が市民に配布したパンフレットは苦情がでるのではと思うぐらい厳しいことが書いてあったが、それぐらいのことが必要な状況であることを町民に理解してもらうことが医師確保の前提となる。

山崎 泰昌 議員

非常にカルチャーショックを受けた研修であった。



医療行政に対する意識の違い、医療関係者の内情、そして医師派遣のシステムとその実情。今までは、県立病院で医療局に申請もしくは陳情すれば、どうにかなるのではと考えていた。医療改革により大学病院などのシステムが変わったのは承知していたが収拾のつかない所まで来たのかと実感した。

この問題に対応していくには、町単独のレベルでは難しいと思うが、地域住民のためにやらなければならぬことである。町民が同じ意識をもって取り組まなければ打開できない問題である。

首長が英断を下す時期が近づいていると思う。

佐藤 照彦 議員

県立病院の医師確保など医療の充実、県が一生懸命取り組んでもらわなければならぬ。

同時に、県立病院がなくなれば地域住民が困るので住民も行政も、病院もそれぞれ自分のこととして頑張らなければならない。

「首長の本気度と決断だ」
「今、求められているのは行政・市民・病院が正三角

形にならない。これを維持するような医師確保対策をしなければならぬ」ということを遠野で学んだ。

町長、議長に本気を出させ、住民を「山田病院と地域医療を守る会」に結集し、山田病院と地域医療を守るため、全力を上げる決意である。

佐藤 忠暉 議員

7月初旬遠野市に医師確保対策の取り組み状況を視察にいき、医療整備室室長から、約90分説明を聞き大いに参考になり、心に感じた事柄をいくつか列記します、

- ①まず首長の姿勢いかんによるということだ。首長がどれだけ医師確保を望んでいるかということだ。
- ②首長や病院長が、とかく県医療局の顔色ばかり考えて医療局の言うままになつていないか。
- ③首長が病院および医師にどんな応援施策を考えているか。
- ④県で医師が配置できないなら町が配置するしかない。町が資金を用意して医師を雇う気持ちがある

かということだ。

⑤首長が本当に真剣に医師確保を望むなら、その思いを全国へ発信していいのではないか。もつと医師へのPR、アプローチをしていいのでは？

木下 志き子 議員

遠野市の医療を守る姿勢は、行政と市民と病院が正三角形の形で維持することが大切であると提示している。医師確保のため地域の人が知恵を出し合い「この地に住んで見たい」と思われるように地域の特性をアピールしたことは大きな努力であったと思う。長期にわたり弛まぬ努力の積み重ねが実を結んだことをたたえる。医師不足という現実はずいぶんお膳立てもかなわない。医師と医療関係機関に対して我々がその労に感謝の意を忘れたりしてしまふようでは何も成り立たない。そして、患者は何時でも受診できるという自己本位な意識をもつてはならないことも大変なことであろう。医師、医療関係者を支え、守る地域住民のありべき姿を問われたとき、

わが町は、どのように臨むべきかを決めなければならぬと思う。県立山田病院の存続のために今後も活動をおしまない。

三ヶ尻 隆雄 議員

遠野市の県立病院が医師充足率を達成しているが、過去には、県下で医師充足率最下位のときもあったとのこと。その後「医療、福祉、健康、出産、育児」全てに安心できるまちづくりに取り組み、現在は病院長を先頭に、市、市民が一体となり、医師確保のため県立にもかかわらず、市の予算を使い積極的に行動している。医師の招へい条件は病院と行政、住民が互いに理解する上で正三角形の関係が大事だとのことであった。

本町においては、毎年県の医療局に医師確保の要望してきたわけですが、近年の医師不足の現状からみれば配置してもらえないわけがないと思う。今後、本町においても常識にとらわれず、遠野方式を研究する必要があるのではないかと感じた。町の良さ、魅力を全面にアピールし、あらゆるアイデアを募りホームページ・チ

ラシなど最大限利用して活用すべきだと思う。

吉川 淑子 議員

遠野では、市民診療整備室を立ち上げ、医師確保のため乗馬の無償貸与（馬一頭あげます）とかで話題となったが「馬の話はうまくいかなかった」と初めに説明があった。

遠野市が生き残ったのは、医局に頼らない「貴田岡院長が今までの長い付き合いの中から医師との交流を介して医師をつれてきてくれる」とのこと。行政側は新しく来てくれる医師の要望を考えを聞いて、例えば、寒さや住居など不安の解消、奥さんの要望（農業Ⅱ家庭菜園）土地や技術の提供、協力を約束、医師であるまに住民になるので地域のみなさんが医師やその家族を全面的に支援していくことが大事であり、住民は病院を助ける市民団体であるべきである。

山田の場合、山田の魅力をPRし、船つり、お祭りお神輿かつぎ参加、カキ、ホタテ食べ放題とか、山田の魅力を活用していくことが考えられる。

議会ア・ラ・カル・ト

明日の山田を担う
飛び出せ
青春⁷



山田高校生徒会執行部の皆さん（みんな来てね🐾）



生徒会長
菊地綾佳さん

山田高校生徒会

—山高はこんなところ—
まず、挨拶がすばらしい学校です。地域の皆さんにも、よくお褒めの言葉をいただきます。また、部活動ではインターハイに出場しているボート・空手道部など輝かしい成績を残しています。進路なども、国立大学へ進学している生徒もあり、将来の自分の進路を幅広く選択できる学校です。

—山高のここが楽しい—
楽しいところは、やはり行事がたくさんあるところです。特に、ほかの学校にはない「海の運動会」は生徒だけでなく、先生方も競い合いながら行う行事です。この日はやはり先生も生徒も関係なく競技するので、日ごろの思いを競技にぶつけ合って生まれる楽しさがあります。

—中学生の皆さんへ—
私たちの住む山田のために、これからも積極的に活動していきましょう。中学3年生の皆さんは、受験まであと4カ月ということで、不安と隣り合わせの中で頑張っていることだと思います。さて、中学生の皆さんに質問です。今、最も自分が行動しなければならぬことは何ですか？必ず一つあると思います。どんな小さなことでもいいんです。思っているだけではダメ。行動することが次の第一歩です。高校時代は人生にとって、かけがえのない時期です。山高で、その高校時代を仲間とともに過ごしてみませんか。

山高のここが楽しい

中学生の皆さんへ

議員出欠表

●病欠入院 □公務欠席
△遅刻早退 ○自己都合

月日	本会議種別	欠席者等氏名
9月9日	第3回定例会	欠席者等なし
9月10日	"	欠席者等なし
9月11日	"	△三ヶ尻 隆 雄
9月16日	"	欠席者等なし

明日の山田が見えてくる

皆さんで議事を傍聴しましょう。

平成21年12月定例会は、12月上旬に開会の予定です。

ありがき

▼政権交代により新内閣は、予算削減・補助金などの凍結で動きはじめ、本町を含めた全国の自治体は、その詳細がなかなか見えず対応に右往左往です▼町が事業を策定・実施していく場合、その財源に占める補助金の割合は大きく、町の負担を少なくして、大きな事業を実施出来る方法が自治体の常識として執行されてきました▼今までの常識にとらわれず事業を精査し、これまで以上に是非を考えていくことが行政・議会・住民すべてにおいて求められる。国は地方が独自の施策を展開できるような財源を含め、きちんとした地方分権を推進すべきです▼町の景気活性化・内科医常駐問題も、行政と住民との協働なくしては、良い方向は見えてこないと思います。みんなで力を合わせ頑張りましょう。（豊間根）

議会広報編集特別委員会

- 議長 昆 輝
- 委員長 生 利
- 副委員長 黒 一
- 委員 小 沢
- 豊間根 林
- 稲川 根
- 山崎 泰
- 委員 山崎 昌

